

ピッピーはどうしてW.Coで運営しているの？

NPO 法人ピッピー・親子サポートネットは「働いていてもなくても預かる」ことをコンセプトに、2005年にピッピー保育園をつくりました。「子どもも大人も主体的に関わりあい育ち合う」保育園を、スタッフ一人ひとりも主体的に働きあう「W.Co」で運営したい～私達はスタッフ募集で集まったメンバーで、保育 W.Co ピッピーふあむと調理 W.Co ピッピー・キッチン の2つの W.Co をつくり事業をスタートしました。

◆ 正解はない、知恵を出し合う

認可保育所をはじめ制度に則って運営する事業には、クリアしなければならない法的な縛りがあります。スタッフは必ず法人との「雇用契約」を結び、また就業規則を定めて届けることも必要です。またワーカーには常勤職の人から短時間で働く人、主たる生計を担う人、子育て中の短時間で働きたい人など様々なメンバーが参加しました。その働き方をどう「賃金」で評価するのか?、子育て中の人や、世帯主で生計を立てなければならない人の処遇はどうするか? など、再三、悩んだり議論を重ね、「正解」は無いけど今はこの考え方で行こう!、そして、課題が発生するたびにワーカーズの運営会議や、時にはプロジェクトを作って検討し、法人の理事会では他事業に関わる理事メンバーとも知恵を出し合い、前に進んできました。

W.Co (ワーカーズコレクティブ) とは「雇う・雇われる」の関係ではない働き方。働くメンバーが対等な立場で、より良い仕事をするをめざす、そして事業を継続するためには収支状況を把握した上で、働き方や分配金(賃金)

をどうしたら良いかについても自分たちで考え、決める必要があります。さらに私たちは福祉の現場での気づきから、日々の支援だけでなく制度としてどうあればいいのか? についても W.Co や法人の理事会で話し合っ、必要なことは横浜市や県、国にも声を出していく。今の制度に無いことは、まずは自分達で始めてみよう、ということもやってきました。

例えば、放課後の居場所づくり事業(→放課後等デイサービス)や、はっぴい広場での一時保育など、自分達で始めてみるのが、新たな制度に繋がってきました。

◆ 悩みながらも面白くなって前に進みたい

W.Co の「自主管理基準」では、自分たちの働き方を自分たちで考えることに加えて「地域と繋がる」ことをミッションに掲げています。(～W.Co は地域に必要なものやサービスを提供する事を事業とし、協同労働によって豊かな地域社会づくりに貢献する。W.Co の協同労働をコミュニティワークと呼ぶ。～一部抜粋)

そして、私たちピッピーは、W.Co と法人との「協働憲章」を持ち、車の両輪として活動しています。

こんな私たちの「難しいけど面白い?」
仕組みは、他にお手本がない。だからこそ、これからも自分の頭で考え互いに話し合い、悩みながらも面白くなってみんなで前に進んで行けたら、と思います。

(副理事長 / 友澤ゆみ子)



出会いと経験を重ねて次へと繋げる

今回の総会特別企画は、今までとは違う新しい試みで息つく間もない感覚。どの人が、どんな言葉で「W.Coってなに?」を語るのか。始まる前からそのおもしろさ、おもしろがるであろう自分を描いていました。

自分が子どもだった頃、周りにはもう本当に「パワフルでエネルギー」な人たち、「どこにもないならば自分たちでつくっちゃおう、やっちゃおう!」な人たちが大ぜいいて、「おとなになるってこんな感じ」、と遠い昔、純粋で素直だった頃の私は感じていたのです。あの時感じた空気が、あの時間くらしてらす3階に流れ込んだような、懐かしさ。「まだまだだなあ、ひよっこだなあ、まだ私はあつく語れないなあ」と痛感した本当に貴重な時間でした。

今の時代(なんて、たくさんの時代を生きていませんが)に、「W.Co」という働き方が合っているのか、いないのか。

そんなことは分からないけれど、2004年の夏に「保育園をつくりましょう」と集った私たちが20年間にW.Coピッピー・ふあむとして多くの人たちと出会い、繋がってこられたことは誇りと強み。それをそのまま次に繋いで2026年度が始まりました。これまで積み重ねてきたものと、これから新しく積み重ねるものがうまく具合に混ざり合っ、ピッピー・ふあむはまだまだ続いてゆく。代表を交代して、今そんなふうに思うのです。

(W.Co ピッピー・ふあむ副代表 / 杉本さやか)



W.Coと各事業のメッセージ

W.Co ぶらっと

さらなる連携をめざして「相談支援&ヘルパー事業」

2025年4月からW.Coぶらっとが始動し、保育園スタッフが新人ヘルパーとして訪問するなど、保育や介護の現場の協力で、新たなチャレンジができました。相談支援とヘルパー事業を担うことで、相談支援員のスキルを活かし、丁寧に対応するしくみが機能しました。法人内で兼務するメンバーが多い強みを活かし、今年度はさらに連携を深め、両事業を運営します。法人内ケース会を定期開催し、そこで得た学びや気づきを可視化・共有し、制度提案につなげます。(代表/平田郁代)



W.Co la casa

チームワークで試行錯誤を重ねる

5月21日(木)第20回定期総会を迎えることができました。20年という節目で、W.Co役員が代わり、新体制がスタート。お互いを尊重し、思いを伝え合うことを大切に、新たな1歩を踏み出しました。「となりのいえ」は「子どもも大人もまざり合い、ともに過ごし、ともに育つ場」。子どもにも大人にも、そして地域にも必要とされる場であり続けるため、変化をおそれず、チームワークで試行錯誤を積み重ねていきます。

(代表/山口麻実)



W.Co Socio

ひとつの家族のように助け合い育ち合う

5月23日に第8回socio定期総会を開催しました。総会の最後には子どもたちの活動の様子をフォトムービーで振り返りました。2026年度は園の保育方針である、「ひとつの家族のように助け合い育ち合う」をめざして、子どもも大人も主体性を発揮する共主体を大切に保育を行います。また、食を通じた活動も広げ、一時保育は受け入れ人数を増やし多様なニーズに応えていきたいと思っています。(代表/飯島香)

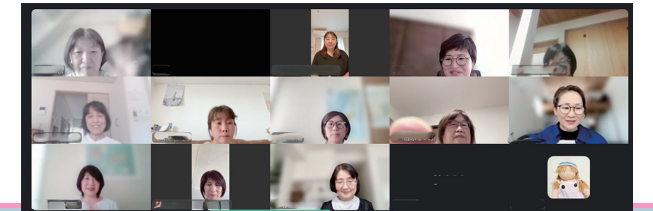


W.Co はっぴいず

バトンタッチをめざして

W.Coはっぴいずの今年度の目標は「両事業の繋がりをより一層大切に、様々なかたちで寄り添った支援ができるよう努める」です。これはワーカー3年目のメンバーからの提案でしたが、ワーカーズ代表8年目の私の目標は「引き継ぐ」です。若いメンバーが、今後活動しやすいように、地ならしをするのが今年度の裏の目標です。まずは新しいメンバーを引き込むために、「やりがい」という貝を埋めてこようと思います。

(代表/菅原美恵)



W.Co さんりん舎

歌と笑いと涙の総会

この一年どうにか継続したいと知恵を出し合いもがいてきましたが、デイサービスさくらに終止符を打つ決断をしました。この13年間の利用者さんとの思い出や寂しさが甦ります。10年以上通われていた利用者さんもいて、その方が「さくら大好き、今が一番幸せ」とおっしゃっていたことを、忘れられません。

定期総会の最後は歌で締めくり笑顔に戻り、また皆で頑張ろうと前を向きました。デイサービスさくらは閉じる選択をしましたが、今後は地域のお年寄りが気軽に集え、子どもたちと過ごせる居場所作りをめざして、知恵を出し合い活動していきます。

(代表/中津淳子)



W.Co ピッピーふあむ

設立の思いを繋ぐ

ピッピーふあむは、ピッピーのワーコレの中で最初に誕生しました。「子どもたちの幸せな居場所となるよい保育園を創りたい(2005年設立趣意書)」をかたちにし、「困ったことがあったらここに来てね、困ってなくてもここに来てね」の場所をめざしてきました。一昨年のピッピー保育園の閉園、みんなの保育園との統合を経て、現在は、りとる・ピッピーの運営を中心に活動をしています。今年度、W.Co代表を交代しましたが、創立の想いを繋ぎ、子どもも大人も主体性を大切に歩んで行きます。

(代表/田中さおり)

